

弓場

弓場は園内の北の端にあり、藩主が武芸の稽古をしたり、家臣に武芸の腕前を披露する機会を与えたりするために使われました。家臣は巧みな弓術を披露した見返りとして庭園を鑑賞することが許されました。後楽園は藩主と家臣が信頼の絆を育むことのできる場所でした。

弓場には、的場の反対側に茅葺き屋根の射場があります。観射亭は射場に隣接しており、現在は土産店が入っていますが、かつては藩主が弓術を鑑賞した場所でした。観光客は射場でお茶の時間を楽しむこともできます。土産店と食事処は、正門の北にもあります。

ここではもう弓術の稽古はしていませんが、以前ここで行われていた名残はまだ目にすることができます。たとえば、射場の近くの左端には、弓術の判定をする人が座っていた矢見塚の小さな窪みがあります。

弓場は正門の近くにあり、現在の入園券売り場の後ろにあります。